

会 議 録

☐ 全部記録 ☒ 要点記録

1 会 議 名	第 2 回姫路市新美化センター周辺地域連絡調整会議
2 開催日時	令和 6 年 1 1 月 9 日（土曜日） 1 8 時 0 0 分～2 0 時 2 0 分
3 開催場所	津田公民館
4 出席者又は欠席者名（敬称略）	（出席者）津田地区連合自治会加茂自治会：吉田達生会長、土島広紀副会長、本間忠副会長 〃 今在家自治会：井上清勝会長、八木実副会長、井上秀昭副会長、 藤原昭一副会長 〃 構自治会：三木章司会長、木村正副会長、渡邊浩副会長 〃 思案橋自治会：山本道人会長、東龍太副会長、鴨川敏之役員 英賀保地区連合自治会：魚田政敏会長、西川茂樹副会長 飾磨橋西地区連合自治会：野口照男会長、達賀善忠副会長 飾磨橋東地区連合自治会：大野光生会長、野田勝也副会長 （事務局）農林水産環境局長、環境事業推進室長、環境事業推進室主幹 2 名、環境事業推進室 6 名
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人 0 名
6 議題又は案件及び結論等	報告 （1） 事業スケジュールの見直しについて （2） 事業の進捗状況について 議事 （1） 前回の地域連絡調整会議のフリカエリ （2） 新美化センターでの受入時間等について （3） 新美化センター付帯施設について （4） 地域活性化施策について

(5) 地域環境整備事業について

(6) 社会実験等について

7 会議の全部内容又は進行記録

詳細については別紙参照

第2回姫路市新美化センター周辺地域連絡調整会議 会議録（内容）

1 局長挨拶

2 報告

（１）事業スケジュールの見直しについて

（２）事業の進捗状況について

3 議事

（１）前回の地域連絡調整会議のフリカエリ

（２）新美化センターでの受入時間等について

（３）新美化センター付帯施設について

（４）地域活性化施策について

（５）地域環境整備事業について

（６）社会実験等について

会議の記録

●報告

- ・報告（１）事業スケジュールの見直し（２）事業の進捗状況について、事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

なし

●議事

- ・議事（１）前回の地域連絡調整会議のフリカエリについて、事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

なし

- ・議事（２）新美化センターでの受入時間等について、事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

出席者：自身の地区では夜間に収集している。センターに搬入できないとなれば、夜間収集したごみは車に積んだままにしているのか。

事務局：夜の１０時から朝の４時半まで搬入受付している。

出席者：一般持ち込みだけが搬入できないということか。

事務局：そのとおり。

座長：旧南部美化センターの受入曜日と時間はどうだったのか。また、施設の稼働は24時間だったか。

事務局：受入は月曜日から土曜日の朝8時から夕方3時。施設の稼働は点検の休炉時以外は24時間稼働であった。

出席者：24時間受入をすればどのような影響があるか、シミュレーションはできているのか。

事務局：現時点ではできていない。許可業者にヒアリングをするなど実態を把握し、車両の分散の可能性を探っていきたい。

出席者：影響が把握できていない段階でこの場で結論を出すのは難しい。住民に対しての説明責任がとれない。

事務局：今この場で結論を出してほしいわけではない。車両を分散し渋滞の緩和が期待できる一つの案である24時間搬入について、地域の方の様々な意見を聞きたい。

出席者：現在、国道250号線はかなりの渋滞で、各自治会の生活道路に進入し大変な状況となっている。ここに13台の収集車がプラスされれば大渋滞となる。現状の渋滞の状況を一度見に来てほしい。他都市の施設を見学した時にも印象に残っているが、渋滞緩和のためにはやはり新しい搬入道路の整備が必要ではないのか。立ち退きせずに接道できる道が一つあるので一度現地を見てほしい。

事務局：把握はしている。一緒に現地を見に行きたい。

出席者：もう1ヵ所、拡張すれば大型車両が通行できる道がある。

事務局：そこは播磨臨海地域道路が通る予定の場所だが、どのくらい影響があるかまだ情報がない。

出席者：現在、夜間に搬入している委託・許可業者は何社くらいあるのか。

事務局：4社。

出席者：夜中に車両が通行する音はすごく響く。以前、国道の前に住んでいたのでよく分かる。

出席者：24時間受入をすると朝の渋滞が緩和されて喜ぶ人と、夜がうるさくなくなって困る人と両方の意見が出てくる。

出席者：ダンプカーはうるさいが、パッカー車程度ならそれほどうるさくはない。

出席者：日曜日に搬入したいと考えているので、日曜日でも営業してほしい。

事務局：計量でいえば、ETCのような無人で365日24時間対応可能なシステムを導入している施設もある。運営の方式にもよるが日曜日でも開場できる可能性はある。

事務局：通勤時の渋滞が一番の問題ということは理解している。ただし、市川美化センターの330トン炉に比べて、新施設は約200トン炉となる。当然、施設規模が小さければ搬入されるごみも少なく、搬入車両も減る。収集計画を考える上で地元の方の許容範囲を確認したかつ

た。

出席者：収集の時間帯は地域によって、昼、夜それぞれ希望があると思うが、搬入は24時間受入でも良い。

出席者：国道250号線沿いに住んでいるが、日曜、祭日以外は朝6時から9時までは常に渋滞している。渋滞が緩和されるのであれば24時間受入でもよい。

出席者：朝6時から9時までの渋滞している時間を避けて搬入した方が、渋滞が緩和されるのではないかな。

事務局：委託・許可業者には搬入ルートや搬入時間の指導ができる。24時間受入を許容してもらえれば様々な方法を検討できる。

出席者：現在、市川美化センターの搬入開始の8時の時点で収集車両が並んでいるのか。

事務局：並んでいる。

出席者：施設敷地内に並んでいるのか。

事務局：市川美化センターは道路沿いに入口があるので、道路上に並んでいる。新施設ではそうならないようなレイアウトを検討したい。

- ・議事（3）新美化センター付帯施設について、事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

座長：連合自治会内でもいろいろ検討をしている。集客施設を施設敷地内に造ると交通渋滞の懸念があるため、利用しやすい津田公園を整備しそちらに造ってほしい。施設敷地内にはスポーツができるような大空間のスペースを建設してほしい。また、津田地区では避難所が不足しているので、災害時には防災拠点となる施設としたい。

事務局：各自治会でバレーボールやバトミントンの需要はありそうか。

出席者：ソフトバレーは別校区の場所を借りている状況なので需要はある。

出席者：視察した今治の施設は住宅街の中にあるため、利用頻度は高いとのことだった。新施設の周辺は住宅も少なくあまり利用しないのではないかな。

事務局：その懸念はある。

出席者：そういう意味でもスポーツ施設やグラウンドゴルフ場は、施設内ではなく各自治会の周辺での整備が望ましい。

出席者：以前、仕事で他都市の清掃工場に行くことが多かったが、付帯施設がある工場はほとんどなかった。やはり各自治会の周辺での整備が望ましい。

事務局：施設外での整備については別の制度で検討したい。

出席者：スポーツができる施設は地域住民限定ではなく、全市民が利用できるのか。

事務局：施設敷地内での整備であれば予約の方法などを工夫し、地域の方が優先して使用できる仕組みは検討したい。ただし、津田公園での整備となれば、管理者の問題や公園の条例などの問題が考えられる。

出席者：付帯施設は廃熱を利用したものに限られるのか。

事務局：姫路市としては廃棄物エネルギーを使用した施設が理想である。

出席者：県内の他都市ではどのような付帯施設を建設しているか。

事務局：隣の高砂市では少し離れた場所に有料のスポーツ広場を整備している。

事務局：姫路市でもエコパークあぼしではグラウンドゴルフ場や健康増進センターがある。

出席者：エコパークあぼしはマイクロバスでの送迎があるのか。

事務局：山陽網干駅から無料のシャトルバスが出ている。

出席者：まち美化土砂等の受入は新施設で置けなかったら困るのか。

事務局：まち美化担当からは、新施設に仮置きした方が収集の効率が良いとも聞いている。

事務局：必ずしも新施設に置く必要はなく、例えば市川美化センターに置くことも可能である。

出席者：市川美化センターの稼働停止後の予定は決まっているのか。

事務局：まだ何も計画されていない。

出席者：災害が発生した市町では、災害廃棄物を受入れるところがなく困っている。市川美化センターの稼働停止後の使用計画がないのであれば、まち美化土砂等は市川美化センターに置き、新施設は災害用にできるだけ面積を確保しておいてほしい。

事務局：災害廃棄物に関しては、必ず施設敷地内の何%かの面積を確保することが義務付けられている。

出席者：エコパークあぼしには年間約12万人が来場している。住宅街から少し離れた場所であってもいい施設ができれば集客はある。渋滞の話が懸念されるが、令和14年の稼働までに新しい道路の開通も予定しており、今より緩和されることは間違いない。渋滞を少し我慢し、廃熱等をうまく利用した集客施設の検討も、可能性としては残しておいてほしい。

座長：現時点では敷地内にまち美化土砂の受入は可能であること、避難所機能を持った研修室の建設を希望することを確認しておく。

・議事（４）地域活性化施策について、事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

座長：津田公園の再整備をお願いしたい。

事務局：新美化センター、津田公園、中部衛生センターを核として、良い展開ができればと考えている。その他に良い土地があるなど何か意見があれば机上にのせて議論ができる。

出席者：現在の津田公園の実態は、野球やテニスなど専門的なものが多い。一般的な人が使用でき世代間交流することで、まちづくりの核となるような地域活性化のために必要な公園ができればと思う。

- ・議事（５）地域環境整備事業について、事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

座長：加茂自治会の役員会では、農区倉庫の雨漏りが酷く予算も無いので、補助してほしいという意見が出た。

出席者：思案橋は公民館を３０年ぶりに改修する。３分の１は補助を受けたが、２分の１相当までの補助を新美化の事業でお願いできないか。また、防犯カメラの維持費についても非常に困っている。

事務局：新美化の収益は発電によるものが考えられるが、その収益を財源にして様々なメニューを検討したい。ただし、制度の利用は新施設が稼働する令和１４年度からの予定である。

出席者：現在ＬＥＤ防犯灯の設置に一部補助を受けている。新施設の売電で年間何億もの収入になると思うが、その財源で市内全域の防犯灯を全額補助すれば喜ばれるのではないか。

事務局：施設の運営費や建設費用の償還を考えると財政的に難しいが、可能な限り思いに沿った良い制度を作りたい。

出席者：新施設稼働後ではなく、なるべく前倒しでお願いしたい。

事務局：財源の確保ができていない現状では難しいが、財政局と協議していきたい。

- ・議事（６）社会実験等について、事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

出席者：カラスネットの置き場がなく非常に困っている。住民の協力が得られる何か簡単にできる方法があれば提案してほしい。夜間収集も試したいが、夜間には夜間の問題点もあると思うので非常に悩んでいる。

事務局：できるかできないかは持ち帰って精査する。今提案しているもの以外でも、各自治会が実験したいことや困っていることがあれば、今声をあげてもらえれば話を進めることができる。

出席者：現在、夜間収集は深夜に実施しているのか。

事務局：１０時から１２時に収集している。

出席者：夕食終わって８時頃からが都合がいい。

事務局：１０時から収集開始なのでごみ出しは８時から。

事務局：他都市では夜間収集のみで日中に収集していない市町もある。

出席者：夜間収集は家の前にごみを置いておけばいいのか。

事務局：ステーションに出す必要がある。

出席者：拠点型ごみステーションは収集した後に市が掃除してくれるのか。

事務局：清掃については地域との協議となる。

出席者：夜間収集にして12時を過ぎるようであれば反対である。

事務局：絶対ではなく必要な自治会のみ採用してもらえば良い。

出席者：拠点型ごみステーションの置き場がない。

事務局：例えば公園とか、置き場は市で検討する。

出席者：公園まで可燃ごみを誰も持って行かない。

事務局：交代勤務など事情があって、通常の時間帯にごみを出すのが困難な方への制度である。

以上